

School

教育情報 **桂川っ子**

【問合せ先】桂川町教育委員会 ☎65・1149

題字：桂川中学校美術部

持田 由良 さん

なわとび 1・2・3年
長縄を学級全員で3分間に何回跳ぶことができたかを競う
みんなで玉入れシュートゲーム 4・6年
1人ずつバスケットゴールに向かってシュートし、3分間で何回入ったかを競う。
みんなでドッジボールラリー 5年
学級を2つに分けて向かい合い、1つのボールを使ってキャッチボールを行い、3分間に何回受け止められたかを競う。

■ スポコン広場で体力の向上

桂川東小学校 校長 金田 泰弘

本校では、子どもたちの学力の向上はもちろんですが、体力の向上にも力を入れています。五・六年生で構成する体育給食委員会が中心となって、「スポコン広場（福岡県スポーツコンテスト）に参加しよう」を実施します。学級で十三種目の中から一種目を選び（左表）、学級みんなで協力して記録を伸ばしていくとともに、運動することで体力をつけるねらいがあります。昼休みや体育の時間に、練習や記録更新に向けてがんばっています。回を重ねるごとに、子どもたちどうしの声かけや教え合いが



活発になってきました。縄へ入るタイミング、シュートのねらいどころ、ボールの投げ方・受け止め方などです。「みんなでやるのが楽しかった。」「記録が伸びてうれしかった。」「またやりたい。」などの感想があり、とても好評でした。二学期以降も継続して実施する予定です。また、一日に十五分以上の運動か、体を動かす遊びをしたら、メダルを一つもらうことができ「体力アップシート」の実施も体力向上につながっています。

■ 一学期の教育活動を通して

桂川小学校 校長 合澤 博之



折り鶴をささげる六年生

6月15日～16日に、好天に恵まれ、六年生が修学旅行に行っていました。修学旅行の目的の一つは「長崎の原爆についての学習を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さについての思いを持つ」ことです。原爆資料館や永井博士記念館等の史跡をめぐり、原爆落下中心地での平和集会では、目を閉じて祈りを捧げる児童の横顔から、爆した方々への追悼の気持ちや、平和を願う心を感じることができました。長崎市内やハウステンボスなど班ごとに分かれての活動も行いましたが、「友達を気遣いながらの行動」「時間を守っての集合」「気持ちのよい挨拶」など、六年生の成長を感じる修学旅行でした。旅行から帰った後、六年生はタブレットを使って学習したことをスライドにまとめ、グループごとに全校の教室

を回って修学旅行の報告を行いました。また、先日は、下級生がけがをしないようにと、運動場に落ちている小石を集めてきてくれました。

このような一連の活動を通して、最高学年としての六年生の頼もしさ、優しさを感じています。

さて、桂川小学校では、昨年度から一人一台のタブレットを活用して学習に取り組んでいます。今年度は、全ての学年でプログラミングの学習に取り組みます。キーボードのタイピングについては、六年生までに1分間で20文字を目標としておりますが、すでに60文字以上入力できる児童も数名います。



一年生のプログラミング

桂川町の教育目標に「新しい時代を生き抜く力」を育てるため、豊かな心の育成に加え、情報活用能力の育成にも取り組んでいます。